



平成23年度 第18回市民環境活動報告会 発表者募集

第18回市民環境活動報告会実行委員会 実行委員長 柳川 三郎

テーマ「気づきから実行の環」

第18回市民環境活動報告会を平成24年3月3日(土)午後12時30分から、かながわ県民センター2階ホール(横浜駅西口)で開催いたします。第18回市民環境活動報告会の実行委員会は当会、NPOかながわ環境カウンセラー協議会、かながわ地球環境保全推進会議、および、関係行政機関として神奈川県環境農政局環境保全部環境計画課環境計画グループ、神奈川県環境科学センター、等で構成されています。

開催趣旨

市民が県内各地で自主的に行っている環境保全活動の実践報告および環境に関する調査研究の成果を発表する場を提供します。下記の応募要領にそって、申込みをお願いします。

開催要領

口頭発表の時間は20分で、5分間の意見交換を設けます。要旨は200字程度にまとめていただきます。

応募方法

1. 発表タイトル、発表要旨(200字程度)グループ名、発表希望形式(口頭、ポスター)、発表者名、住所、連絡先として電話、ファックス、Eメール、を記載し、下記の申込先へ、ファックス、Eメール、または郵送でお申込ください。
2. 応募者多数の場合は選考委員会内規により選考させていただきます。
3. 政治上の主義主張、宗教の教義を広める、または営利を目的とする、等と判断される場合は発表をお断りいたします。
4. 申込期限は平成23年12月10日(土)

問い合わせ・申込先

第18回市民環境活動報告会 実行委員長

柳川 三郎

〒259-1201 平塚市南金目 722-2

Eメール sm-y@dab.hi-ho.ne.jp

節電から省エネへ 節電チャレンジ冬バージョンが始まります!

理事 内藤 克利

3.11 東日本大震災発生により、政府は電力供給不足に伴う対策として、15%の節電要請を求め、結果はその要求をクリアしました。家庭部門の寄与度は東京電力未公開のため不明です。かながわ節電モデルプロジェクト・コンソーシアムが実施した「節電チャレンジ夏」は家庭での節電傾向を評価するために有効な手段

でした。個人情報等の問題で直前にキャンセル等もありましたが、数多くの方々に協力頂きました。

続いて「節電チャレンジ冬」が10月

から来年1月に実施されます。東京電力の使用記録(11月、12月、1月)を保存しておきましょう。

冬は暖房用に灯油、プロパン等を利用します。これらは多くのCO₂を排出します。

本来は環境家計簿をつければ、省エネに取り組むことで、地球温暖化防止に有効な行動になります。今回の節電チャレンジは夏3ヶ月につづいて冬3ヶ月と、6ヶ月挑戦することになります。この勢いで、年間のエネルギー消費の記録を作りましょう。2年間継続すれば、反省資料も集まり、日々のエコライフの改善がより見えてくるのではないかと思います。引き続き、皆様のご協力を、よろしく願いいたします。



エコポイント環境寄附金を活用した事業の報告

会計 田口 繁雄

当会では、エコポイント環境寄附金（グリーン家電、住宅エコポイント）を平成22年度と23年度に受け取りました。この寄附金を基に、環境教育、啓発及び促進のための事業を平成23年7月と8月に

実施しましたので、以下に報告記事を掲載します。尚、4事業は、平塚市、茅ヶ崎市、横浜市及び箱根町の4か所で、各地元の関係者等と共同、協賛して実施しました。



「ひらつか環境フェア2011」にて

5つの環境教室実施

理事 柳川 三郎

開催趣旨

市民一人ひとりがエネルギーや資源を大量に消費・廃棄する現在の生活を見直し、環境に配慮した生活を実践していくためのきっかけづくりの場を提供することです。実施にあたっては、市民活動団体や事業者、行政などによる取り組みを紹介するとともに、地球温暖化防止に資する情報を発信し、各主体が一体となって取り組んでいくことをめざしています。

開催概要

- ・テーマ「自然の不思議をさがしにゆこう」
 - ・開催日時 平成23年7月22日(金)~24日(日) 10時~17時
 - ・会場 OSC 湘南シティ オープンモール(平塚市代官町33-1)
 - ・主なイベント
- (1) 環境教室参加体験コーナー 環境について体験しながら楽しく学べる環境教室の実施。
- (2) 展示コーナー 市内で行われている環境保

全活動や環境に配慮した製品の展示紹介。

(3) その他 コツコツプラン等の平塚市の環境情報資料等による啓発。

・主催 平塚市を含む7実施団体で構成されたひらつか環境フェア2011実行委員会(事務局:平塚市環境部環境政策課)

・協力 当会および、ひらつか環境ファンクラブ、平塚市環境共生型企業懇話会、平塚地区環境対策協議会、神奈川大学、東海大学など
当会が参画した環境教室

17環境教室中、5教室に参画しました。内容は、買い物博士になろう「エコな誕生パーティを開くには!?」、一年生植物ケナフでオリジナルなハガキを渡こう、酸性雨・地球温暖化はなぜ?~自動車の排気ガスをしらべよう、ソーラーオルゴール工作教室、金目川淡水魚水族館です。来場者に大人気だったのは、で、次から次へと人の輪が続きました。



「エコな誕生パーティを開くには」で説明をする会員



酸性雨・地球温暖化はなぜ?で熱心に観察する参加者

エコポイント
寄付金活用B

自前企画事業「夏休み酒匂川生き物観察会」

理事 柳川 三郎

テーマ「調べてみよう身近な環境」川の中にどんな生き物がいるか？調べ方を学ぼう！

5月に実施に向けて第1回の企画会議をリーダーの古谷氏と柳川が綿密に計画いたしました。酒匂川の本流で小田原アリーナ側の右岸フィールドとすることや、小田原市の支援を受けて募集を行うこと、そのために、小田原市在住の香川氏を主要な企画者に加え、3者が協同して事前の準備をしました。

- 1.開催日時 平成23年8月24日(水)午前10時～12時
- 2.対象 小学生(保護者同伴)
- 3.定員 20名としましたが、



写真上 集合した観察会の参加者

写真右 酒匂川に入り生き物を観察

申込は25名となり申込者全員を受け付けしました。

- 4.集合場所は小田原アリーナ駐車場奥で当会のシンボル旗を立てました。
 - 5.申込は柳川あて電話、Eメール、ハガキ
 - 6.後援 小田原市
 - 7.講師 当会の古谷・猪股・香川・浅岡・柳川および県環境科学センター齋藤和久専門研究員
- 自然の中での体験的学びに、子どもたちは目を輝かし、身を乗り出して、たくさんのむれているオイ



カワの稚魚とりを行いました。あっという間に時間が過ぎて、満足の笑顔があふれていました。

エコポイント
寄付金活用C

泉区「親子で楽しむ環境体験教室」

理事 吉田 榮一

横浜市泉区子ども会育成指導者連絡協議会(以下泉区子連と記載)と協働し、NPO法人Dream Eggs ゆめたまも参加して、平成23年8月20日(土)9時～12時に泉区役所ホールで「親子で楽しむ環境体験教室」を開催しました。子どもや保護者のほとんどの方が「とても楽しかった」、「楽しかった」と、大変有意義な環境体験教室となりました。

当会の開催内容は ケナフでハガキ作り、人力自転車発電、発電・省エネ体験、エコカルタ取り、ソーラークッカ見学で、ケナフ、エネルギー、グリーン各部会が中心となって実施しました。

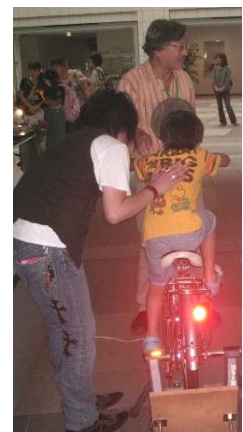
当日の参加者は子供50名(幼児～小学校6年生)、保護者37名です。アンケート結果から、特に楽しかった教室の回答者数(複数回答)は、当会の教室ではケナフでハガキが最も多く、次いで人力発電自転車でしたが、全体的に高い満足度でした。また、この環境教室に参加してエコについて知らないことがこんなにあるのだと実感した、人力自転車発電の体験で子どもにもエネルギー作りの大変さがわ

かった、などの感想があり、今後引き続き環境問題を考え、継続してエコライフを実施していただけることが期待できます。

最後になりましたが、この環境教室実施に関して大変お世話になりました泉区子連の皆様、泉区役所の方々に厚くお礼申し上げます。



ケナフでハガキ作り
ほくもできた!



人力自転車発電
あ!電気が点いた



箱根町での「紙漉き」教室

ケナフ部会長 荒谷 輝正

ケナフ部会は箱根町役場からの依頼で「一年草植物ケナフを使った自分だけのハガキを作ろう」という題目で、夏休み子ども消費生活教室の一環として、以下の要領で実施しました。

1. 日時：平成 23 年 8 月 26 日（金）
2. 場所：箱根町社会教育センター
3. 対象：小学生及び家族

当日は子ども 16 人、同伴者を含めて 30 人がケナフを叩いて、ハサミで切り、ミキサーにかけるところ及び紙漉きの一連の体験をしてもらいました。

参加者はケナフの茎から、実際に使えるハガキが出来て、大変びっくりした様子です。また、紙をつくるには大変な時間と手数がかかることを実感してもらい、子どもたちも紙を大切にしなければ



ケナフを細かく砕いている
参加した子どもたち

と改めて思ってくれたようです。

広報はこね 10 月号には「緑の草が大変身」と題して、紙漉きの様子が掲載されました。

今回の開催は、5 月に県環境科学センターで市町村環境担当者会議が開かれた際、ケナフ部会に講師依頼があり、その縁で箱根町役場からの依頼となったものです。箱根町役場の方には、小田原から送り迎えして頂き大変助かりました。厚く御礼申し上げます。

2011 年度 環境ボランティア養成講座を開催しました

コミカレ事業担当 桑原 清

今年度のかながわコミュニティカレッジ連携講座「環境ボランティア養成講座」は、9 月 6 日から 27 日までの期間に 5 日間開催し、予定通り滞りなく実施することができました。

実施内容については会報 75 号にも掲載しましたので省略しますが、今回の講座ではコミュニティカレッジ講義室での講座だけでなく、外に出て自然観察や、施設見学も実施しました。

自然観察は第 3 日目の 15 日、鎌倉中央公園で、山崎・谷戸の会の坂齋氏のガイドで里山保全活動の実態を見学しました。当日は晴天に恵まれ、雨の心配がなかったのは幸いでしたが、逆に残暑がきびしく、熱中症に注意しながら汗を流しての見学になりました。施設見学は第 4 日目の 20 日小雨の中、横浜市川井浄水場を見学し、現地職員の熱心な説明を聞きました。コミカレ講義室での講義の中でも実験や工作を受講生に体験してもらい、好評でした。

今年は大震災の影響でボランティア活動を志す

多くの人が災害ボランティアに関心が向いたため、今回の受講生は 4 名と少数でしたが、逆にマンツーマンに近い形で講師と受講生が密接にコミュニケーションをとることができました。受講生のひとりから早速、当会に入会したいとの意向が示されるなど、成果がありました。



鎌倉中央公園で坂齋氏（左）から説明を聞く受講生

部会活動紹介 ～水環境部会～

水生生物調査から見えてくること

水環境部会長 齋藤 昭一

人類をはじめ、生命のあるものにとって不可欠なもの、それは「水」です。どれだけ大切かは、近年頻繁に起こる自然破壊の現象の中で、一連のライフラインの被害例を見てもわかることでしょう。私たちはその「水」を、いつも安心して利用できるための一助となれるよう、水の中に生きている動物の観察を中心とした活動をしています。

水環境部会は「水生生物を知って、水環境を知る」ことを目標に平成12年4月に設立しました。現在、部員数は13名です。部会の活動としては、

(1) 西丹沢淡水河川に生息する生物の調査、(2) 淡水河川中の水生生物の役割調査、(3) 外来種の調査、(4) 主に自治体中心での子ども水環境教室の実施、(5) 大学生を中心とした水環境活動、などがあります。

活動場所は小田原市を流れる酒匂川を中心に、西丹沢水系の河川全域にわたっており、時期に応じて活動の地点を移動することもあります。

私たちの業績としては、平成14年から19年まで、神奈川県環境科学センターと共同作業で完成した「西丹沢水系外来種分布調査」があります。この報告書は、現在、神奈川県の外来種分布状況の貴重な資料となっていて、県環境科学センターで閲覧できますし、「酒匂川水系の水生生物」という本としても刊行されています。

現在は「川の種の保存」を中心とした活動や、「エビ、カニ」を特定した分布調査、また特にきれいな所にしかすまないといわれる「ナミウズムシ」の分布調査をおこなっています。寒い時期の2～3月には、県環境科学センターを中心に室内での学習会も開催しますので、ぜひご参加ください。



水生生物の講義を聞く大学生



採取した資料を観察する大学生



新入会員紹介

昆虫大好き「虫姫」だった私



飯田 富佐江(南足柄市)

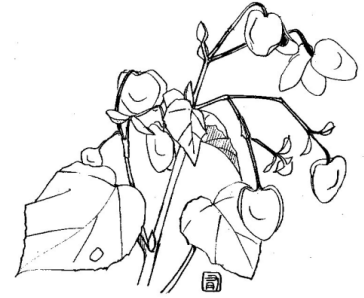
私は子どもの頃から自然が好きで、中でも植物と昆虫が大好きでした。イモ虫などを平気で摘んでいる私を見て、母は「虫姫」と私を呼んでいました。小田原市の街中で育った私は、結婚後、南足柄市の山のふもとに引っ越してきました。

私の子どもが幼かった20年前頃は自然の豊かさを楽しむことが出来ましたが、どんどん開発が進み、今は家の周りにいた蛙も沢蟹も甲虫もまるっきり見られなくなり、れんげ畑で遊んだたんぼもほとんど無くなりました。また、世の中にはクローンや遺伝子組み換えなど、自然ではないものがどんどん出

回るようになりました。このままでいいのだろうかと思い、環境活動に携わるようになり、色々な方たちとつながりが出来てきました。そのつながりで川の調査に参加するようになり、この度の入会になりました。以前、NO₂の測定をしていたこともあり、『大気環境部会』に所属させて頂くことになりました。

私は、全ての物事を命のはかりにかけて考えるべきだと思っています。不束者ですが、どうぞよろしくお願ひいたします。

部会活動



ケナフ部会

部会長 荒谷 輝正

活動予定 (11月~1月)

- ・11月6日(日)ふるさと のば福祉の集いで「紙漉き」実施
- ・11月26日(土)はまぎんこども宇宙科学館「100%リサクルの紙管を使ったイスを作ろう」講座実施
- ・12月3日(土)平塚市リサイクルプラザ「くるりんまつり」参加

定例部会開催予定 (原則、毎月1回実施)

- ・11月12日(土) 予定 はまぎんこども宇宙科学館での講座準備及びケナフ刈り取り

活動報告 (7月~10月)

- ・7月23日 ひらつか環境フェア「ケナフを使った紙漉き」実施。100人以上の体験者がありました。
- ・8月20日 泉区親子で楽しむ環境体験教室「牛乳パックを利用した紙漉き」実施。大変好評でした。
- ・8月26日 箱根町子ども消費生活教室「ケナフを使った紙漉き教室」実施(4面に詳細記事)
- ・10月8日 はまぎんこども宇宙科学館「ケナフを利用した紙漉き教室」実施。13名参加。アンケートによれば大変好評でした。

エネルギー部会

部会長 桑原 清

活動予定 (10月下旬~1月)

- ・10月27日(木) 12月5日(月) 秦野市内の小学校で環境出前授業
 - ・12月18日(日) 横浜市港南区の日野南コミュニティハウスで「子ども環境体験教室」を開催
- 定例部会 (県民センター710会議室 16時~18時)
- ・11月9日、12月14日、1月11日(水)

活動報告 (7月~10月)

- ・7月24日 ひらつか環境フェア(2面に詳細記事)
- ・7月30日 横浜市南区「南まつり」人力発電自転車
- ・8月20日 泉区 親子で楽しむ環境体験教室(3

面に詳細記事)

- ・9月28日、10月6日、10月25日 横浜市南区内の小学校で出前授業
- 定例部会 (県民センター710会議室、16時~18時)
- ・8月10日 部会活動計画、勉強会：光合成のCO₂濃度実験、働かないアリに意義がある
 - ・9月14日 温度測定の結果報告、部会活動計画、勉強会：逗子市の消費電力量、グリーンカーテン、他
 - ・10月12日 部会活動計画、勉強会：夏の節電、他

大気環境部会

部会長 猪股 満智子

活動予定

- ・11月19日(土) 13時30分~16時30分 NPOセンター大船。定例部会(エコアナ方式とエコチエッカー方式の比較・検討)及び12月度NO₂測定準備、2種類のろ紙充填作業
- ・12月1日(木)夕~2日(金)夕 冬季NO₂測定
- ・12月3日(土) 10時~16時 KERC事業(実習室)地図情報ソフト「MANDARA」操作講習会。部会員以外の方もどうぞお試しを。PC準備済み。
- ・12月10日(土) 13時~16時 KERC実習室。NO₂測定の分析

活動報告

- ・7月22日(金) 10時~17時 OST 湘南シティ ひらつか環境フェア 2011 環境教室「酸性雨、地球温暖化を調べよう」講座出展
- ・9月15日(木) 13時~17時(大船駅 鎌倉中央公園・公園管理事務所)かながわコミュニティカレッジ「環境ボランティア養成講座」自然観察と保全活動「谷戸イニシアティブを見てみよう」の案内、「大気環境とくらし」講義

水環境部会

部会長 齋藤 昭一

活動予定

- ・11月6日(日)JR松田駅(山側)9時集合です。今年最後の調査となります。寒くなりますので、少し暖かい服装で来て下さい。
- ・H24年2月と3月に県環境科学センターで水環境学集会を開催する予定です。日時、内容については後日連絡します。

活動報告

9月18日(日)酒匂川、狩川合流点を中心とする調査、6名参加。増水のため十分な成果が得られませんでした。鮎、ハヤ、ドジョウ、サナギ、オタマジャクシ、他。途中、アミに20cmほどのどぶ鼠が入ったときは驚きました。長い歴史の中で初めての経験でした。

グリーン部会

部会長 柳川 三郎

活動予定

- ・24年1月13日(金)平塚市立みずほ小学校へ出前教室「エコな買い物の仕方です社会を変えよう」

活動報告

- ・7月22日 ひらつか環境フェア2011にて環境教室「エコな誕生日パーティを開くには」実施
- ・8月20日 泉区 親子で楽しむ環境体験教室「ソーラーッキングにて太陽エネルギーの巨大さ、エコカルタでエコについての学び」実施

- ・8月24日 酒匂川生き物観察会を初めて実施
- ・9月13日 コミュニティカレッジ講座にて「大豆のすごさ、モヤシ作り、買い物の仕方です社会を変えよう」講座実施
- ・9月15日 平塚市グリーンカーテンコンテスト審査委員長として参画
- ・9月26日 小田原市グリーンカーテンコンテスト審査会へ委員として参画

自然環境部会

部会長 吉田 榮一

活動予定

- ・11月27日(日)10時~12時 かながわ県民センター 709号室、松原洋一氏による報告会「三陸沿岸の海底瓦礫撤去活動報告」

活動報告

- ・10月15日(土)13時30分~17時 横浜山下公園・港の見える丘公園の自然観察会と自然環境部会開催。参加者7名



山下公園での自然観察会

・・・ 会員募集の案内 ・・・

広報部長代行 田口 繁雄

当会では環境に関するさまざまな活動を行っており、新規会員を募集しています。

会員資格はなく、環境に対する思いがあれば、どなたでも入会できますので、会員各位におかれましては、お知り合いや、身近な人たちへのご案内を、よろしくお願ひいたします。

会員の種類 正会員 賛助会員 学生会員 家族会員

当会の詳しい活動は、当会のホームページ URL <http://npo-k-leader.net/> (「神奈川県環境学習リーダー会」で検索すれば出てきます) を参照してください。

事務局だより

事務局 桑原 清

理事会開催予定

かながわ県民センター会議室、14時～16時
11月10日(木)708号室、12月8日(木)710号室、1月12日(木)710号室

事業実施予定

10月27日(木) 12月5日(月)神奈川県新工ネ・省エネ学校派遣事業 秦野市内の小学校
11月26日(土)「CO₂について調べ、体験しよう」はまぎんこども宇宙科学館
12月18日(日)「子ども環境体験教室」日野南コミュニティハウス

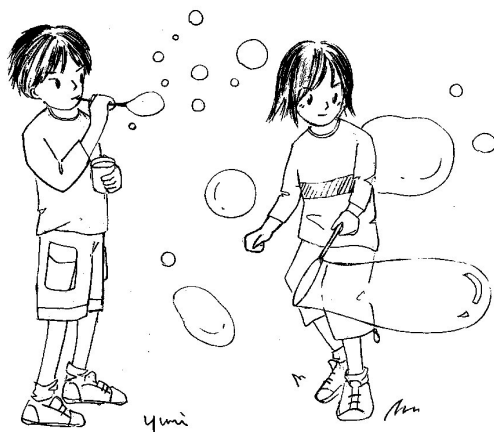
理事会報告

8月11日 かながわ県民センター会議室 かながわアジェンダ推進センターコンソーシアム事業、コミカレ、今後の事業実施計画、等について協議
9月8日 かながわ県民センター会議室 第18回市民環境活動報告会、今後の事業実施計画、等について協議

10月13日 ひらつか市民活動センター会議室 コンソーシアム事業、第18回市民環境活動報告会、今後の事業実施計画、等について協議

終了した事業

(ひらつか環境フェア、親子で楽しむ環境体験教室、酒匂川の生き物観察会、夏休み子ども消費生活教室、環境ボランティア養成講座は2～4面に掲載)
7月30日 横浜市南区「南まつり」蒔田公園
9月28日、10月6日 横浜市南区出前授業 南区内の小学校
10月8日 「ケナフの繊維で八ガキを作ろう」はまぎんこども宇宙科学館
10月22日 「CO₂について調べ、体験しよう」はまぎんこども宇宙科学館



参加協力をお願いします!

(一部環境省いきものみつけ事業連携)

気候変動を見守ろう

心配したセミも約1ヶ月遅れで鳴き始めましたが、秋の訪れと共に短い期間でした。秋の訪れといえはヒガンバナ。9月の残暑で昨年同様、遅れ気味。身近な生物を指標に初確認日をご報告願います。キーワードは「いつ、どこで、初見、初聞き」
秋～冬の対象：イチヨウ(銀杏の落下始め)、ジョウビタキ(羽に三角の紋付)、モンシロチョウ、カントウタンポポ、シロバナタンポポ、ロウバイ、ウグイスの初鳴き、ヒキガエルの卵、ヤマアカガエル・ニホンアカガエルの卵塊とオタマジャクシ
遠出をする必要はありません。自宅周辺、外出の際などに、ほんのちょっと注意をばらうと、毎年気候変化が手に取るよう。1種でも結構です。見つけたもの、聴いたものと簡単な地名を報告願います。県版データ化しています。一度確認した場所を毎年追ってみると、変化がわかってよいですね。
送り先：大気環境部会 猪股 Tel/Fax 0467-32-6858
Eメール：km_inmt@ybb.ne.jp
(環境省いきものみつけのホームページは、<http://www.mikke.go.jp/> をご覧ください。)

特定非営利活動法人

神奈川県環境学習リーダー会 会報 第76号

発行日：2011年10月24日

発行者：代表理事 齋藤昭一

編集人：田口繁雄広報部長代行、長村吉洋広報部

〒231-0013 横浜市中区住吉町2-26

洋服会館3階 よこはま市民共同オフィス内

FAX：050-3488-4943

E-MAIL：npo.k.leader@gmail.com

URL：http://npo-k-leader.net/

寄付、会費等納入口座：ゆうちょ銀行

00230-4-30769 神奈川県環境学習リーダー会

不許複製 © 神奈川県環境学習リーダー会

2011 Printed in Japan